

平成27年度 中部地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日 時 : 平成27年12月14日(月) 13:00~17:40
2. 場 所 : TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター8階ホール8A
3. 出席者 : 藤田委員長、石田委員、沖野委員、奥野委員、駒田委員、西條委員、辻本委員、中村委員、長谷川委員、松尾委員、山村委員
4. 議 事
 - (1) ダム等の定期報告
 - 1) 丸山ダム
 - 2) 岩屋ダム
 - 3) 阿木川ダム
 - 4) 味噌川ダム
 - 5) 長良川河口堰
 - (2) その他報告
 - 1) 平成26年度 年次報告
 - 2) 平成27年の出来事
 - (3) 審議概要等の確認

5) 長良川河口堰 定期報告について

【総括】

これまでの調査結果の分析・評価をとりまとめた長良川河口堰の定期報告書（案）について、審議を行った。

その結果、平成 22 年以降のフォローアップ調査計画に基づく調査が的確に行われていること、長良川河口堰の目的である治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても堰運用前後で環境に一定の変化はあったものの、近年、調査結果は概ね安定した推移を示していることから、長良川河口堰については適切に管理運用されていることを確認した。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は、下記のとおり。

i) 治水

- ・なし

ii) 利水

- ・水道水源として、質の保全にも配慮して取り組んで欲しい。

iii) 塩害防止・地下水位の変動

- ・なし

iv) 水質・底質

- ・なし

v) 生物

- ・重要種であるカマキリ（アユカケ）とウツセミカジカについて、河川水辺の国勢調査では確認されていないが、別途実施した登落ち漁による調査で確認していることから、誤解のないような記述にされたい。
- ・外来種（植物）について、アレチウリは検証結果と評価に不整合があるので、再度、整理すること。新たに確認された外来種についても注意を図ること。
- ・河口堰地点で採捕された降下仔アユが 1 週間程度生存した例もあるため、今後、降下仔アユの分析を検討されたい。
- ・アユの全長の評価結果について、堰上流部では遡上アユと放流アユが混在していることを踏まえ、評価コメントを修正する必要がある。

vi) 今後の調査計画

- ・今後の調査計画は了承する。

- 定期報告書については、了承する。委員からの意見等は、提案（発言）の趣旨を踏まえ定期報告書に反映させること。